



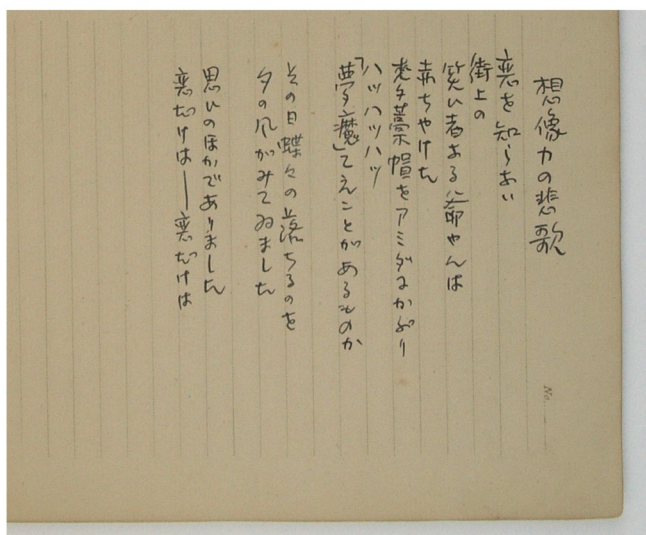
日本橋人形町通り（『大正大震大火之記念』より）

企画展 I

中原中也と関東大震災

1923年9月1日、マグニチュード7.9の大地震が関東地方を襲います。この関東大震災は未曾有の被害を与え、人々の暮らしや文化に大きな変化をもたらしました。中原中也是京都に住んでいたため被災することはありませんでしたが、約1年半後に上京し、復興期の東京で生活しました。

2023年は関東大震災から100年目にあたります。本展では、当時の状況や文学者・中也の周辺人物の被災体験、災害から生まれた文学などを通じて、文学の背景にある震災の影響を探ります。



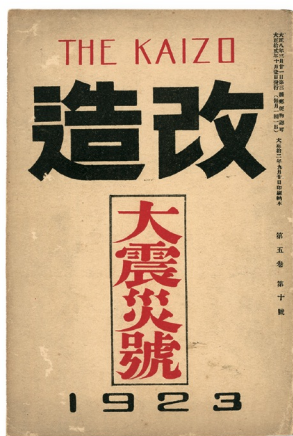
中原中也 原稿「想像力の悲歌」（「ノート1924」）



高橋新吉『ダダイスト新吉の詩』（1923年2月、中央美術社）



詩話会編『震災詩集 災禍の上に』
（1923年11月、新潮社）



「改造」第5巻第10号 大震災号
（1923年10月、改造社）

【表面】

上 浅草凌雲閣（絵葉書集「大東京大震災の実況」より）
下 中原中也 18歳頃（1925年）

中原中也記念館

Nakahara Chūya Memorial Museum

〒753-0056 山口県山口市湯田温泉1-11-21

Tel. 083-932-6430 Fax. 083-932-6431

URL: <https://www.chuyakan.jp/>

E-mail: chuyakan@c-able.ne.jp

